

平成24年度「アルミニウム研究助成事業」の公募実施について

(一社)日本アルミニウム協会

平成23年12月1日

1. 目的

アルミニウムは、軽量性、熱伝導性、耐食性等の優れた特性により近年急速にその用途を拡大し、現在ではあらゆる分野で必要とされる金属材料となりました。

特に、地球環境対応が重要な課題となっている現在、優れたリサイクル性と省エネルギーの期待に応えられる金属材料として評価されています。

このように優れた特性を持つアルミニウムをより発展させ、急速に変化する社会の要請に応えるためには、アルミニウムに関する多方面からの技術研究が重要となっています。

本事業は、アルミニウムの技術研究を行う若手研究者の育成をめざすと共に、アルミニウムの可能性をさらに広げるため、長期的な視野に立ち、若手研究者の優れた技術研究を助成し、研究意欲を高め、新たなアルミニウム市場の創造に発展することを目的とします。

2. 研究対象分野

2011年(一社)日本アルミニウム協会「アルミニウム技術戦略ロードマップ」に記載されている技術に関連するテーマ及び省エネ、省資源、環境負荷低減、設計、感性工学、IT等、アルミニウムに関連又は応用可能な先進的研究テーマ。(申請書に記載)

3. 応募資格

国内の大学、短大、高専、工業高校、公設研究機関に在籍する40才未満の研究者(個人又はグループ)とします。博士課程への進学確定者、博士課程在籍者を含む。

但し、博士課程の進学確定者並びに在籍者が申請する場合は、申請書に指導教官の署名を必要とします。

4. 助成期間

1技術研究課題当たり2年間とし、期間は会計年度とします。但し、博士課程在籍者については必要に応じ1年度のみ助成並びに3年度の延長を認めます。

5. 助成金額

1技術研究課題当たり、第1年度は50万円、第2年度は30万円とします。延長による第3年度は、第2年度と同額とします。

6. 助成件数

15件以内

7. 研究成果の発表

研究助成対象者には、必ず軽金属学会に入会頂き研究成果の発表をして頂きます。

8. 研究成果報告会

(一社)日本アルミニウム協会において研究成果報告会を行いますので、必ずご出席頂き、成果報告をして頂きます。

9. 募集期間

応募書類は、平成23年12月5日(月)～平成24年2月29日(水)までに、下記宛にご提出下さい。郵送の場合は、募集締切日必着とします。なお、募集日以降の提出は受け付けません。

10. 公募要領等

「アルミニウム研究助成公募要領」並びに「アルミニウム研究助成申請書」は、日本アルミニウム協会及び軽金属学会のホームページから入手して下さい。困難な場合は、お問合せ下さい。

(社)日本アルミニウム協会 <http://www.aluminum.or.jp>

(社)軽金属学会 <http://www.jilm.or.jp>

11. 問合せ先

(一社)日本アルミニウム協会 事務局 大嶋

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル(7階)

電話 03-3538-0221 E-Mail y-oshima@alkyo.jp

以上

平成24年度「アルミニウム研究助成事業」公募要領

(一社) 日本アルミニウム協会

平成23年12月1日

1. 研究助成の応募方法

所定申請書に記載のうえ、当協会事務局宛に、締切り日までに郵送（必着）又はEメールにより提出して下さい。

2. 対象とする研究助成課題

2011年（一社）日本アルミニウム協会「アルミニウム技術戦略ロードマップ」に記載されている技術に関連するテーマ、及び省エネ、省資源、環境負荷低減、設計、感性工学、IT等、アルミニウムに関連又は応用可能な先進的研究テーマ（申請書に記載）

3. 応募資格

国内の大学、短大、高専、工業高校、公設研究機関に在籍する40才未満の研究者（個人又はグループ）とします。博士課程への進学確定者、博士課程在籍者を含む。

但し、博士課程の進学確定者並びに在籍者が申請する場合は、申請書に指導教官の署名捺印を必要とします。

4. 助成期間

1. 技術研究課題当たり2年間とし、期間は会計年度とします。但し、博士課程在籍者については1年度のみ助成並びに3年度の延長を認めます。

5. 助成金額

1 技術研究課題当たり、第1年度は50万円、第2年度は30万円とします。延長による第3年度は、第2年度と同額とします。

6. 年間助成件数

新規助成技術研究課題件数は、15件以内とします。

7. 研究課題の応募

個人及び1グループの応募件数は、1件とします。

8. 研究助成課題の選考・採択

応募の研究課題について、選考委員会が選考し、その選考結果に基づいて理事会が採択します。

9. 研究助成課題決定の通知

理事会が採択した後（平成24年4月末）、直ちに（一社）日本アルミニウム協会事務局より、E-mail又は書面及びホームページでの公開をもってその結果を応募者に通知します。

10. 軽金属学会への入会

アルミニウム研究助成対象者は、採択された時点で（一社）軽金属学会の会員でない場合は入会の手続きが必要です。

11. 中間報告

(1) 第1年度は翌年2月10日（土、日曜日又は国の祭日に当たる場合は、その翌日）

までに助成金の使途概況と当該研究の経過概要（中間報告書）及び、第2年度の研究助成継続希望の有無を所定の用紙に記載し事務局宛に郵送又はEメールでご報告戴きます。

(2) 博士課程在籍者で、1年間の研究助成延長を希望する場合は、第2年度終了時の2月10日（土、日曜日又は国の祭日に当たる場合は、その翌日）までに助成金の使途と当該研究の経過概要及び研究助成延長申請を事務局宛に提出して戴きます。

1 2. 成果報告会

研究助成期間終了前後を目途に、(一社)日本アルミニウム協会において、成果報告会を行いますので、そこで研究成果を報告して頂きます。詳細は別途ご案内します。

協会までの往復の交通費は支給致します。

1 3. 成果の発表

研究成果は、必ず研究助成期間終了後1年以内に(一社)軽金属学会の春・秋いずれかの研究発表講演会において発表して戴きます。なお、研究成果は、是非(一社)軽金属学会誌「軽金属」または共同刊行誌「Materials Transactions」に軽金属学会を通して論文投稿をお願い致します。

また、成果発表においては「アルミニウム研究助成」によることを明記願います。

1 4. 研究助成金の使途報告

研究助成金の使途は、制限しません。使途報告は、会議費、設備費、消耗品費、交通費などの区分とします。なお、報告書はA4判とし、様式は任意とします。

1 5. 研究助成の中止

研究助成対象者が、応募資格を喪失(年齢制限を除く)したときは、(一社)日本アルミニウム協会は、事情を聴取の上研究助成を中止する場合があります。

1 6. 特許等の取扱

研究助成により得られた成果について、特許等を取得する場合は、予め(一社)日本アルミニウム協会事務局宛に書面をもって連絡して下さい。

(一社)日本アルミニウム協会は、当該研究者が了解する適切な条件で特許等の使用をお願いする場合があります。

1 7. 研究助成金の支払い

採択通知後3か月以内を目途に、以下のいずれかの方法で支払います。

- ①申請研究者の所属機関に使用目的を明確にして、研究委託費として支払います。
- ②申請研究者が指定する銀行口座に振り込みます。ただし、特別の理由がない限り源泉徴収した残額を支払います。

1 8. 提出先

(一社)日本アルミニウム協会 事務局 大嶋

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル(7階)

電話 03-3538-0221 FAX 03-3538-0233

E-Mail y-oshima@alkyo.jp

以上

平成24年度「アルミニウム研究助成事業」申請書

平成24年 月 日

一般社団法人 日本アルミニウム協会 御中

申請者

氏名	年齢	才
研究機関・所属		
役職		
所在地	〒	
TEL :		FAX :
E-mail		
指導教官（博士課程の場合、必ずご記入下さい）		
氏名	印	
所属 :	役職 :	

研究課題と研究期間

研究課題	
研究期間	

申請者の経歴

氏名 <small>ふりがな</small>	生年月日	年齢
最終学歴、学位		
現在の専門分野		
研究組織（グループ研究のみ）		

共同研究者

氏名 <small>ふりがな</small>	生年月日	年齢
最終学歴、学位		
現在の専門分野		
氏名 <small>ふりがな</small>	生年月日	年齢
最終学歴、学位		
現在の専門分野		

研究内容の説明

研究課題：

1. 本研究の分野（該当するものに○印下さい。複数可）

I 2011アルミニウム技術戦略ロードマップ要素技術			
大分類	中分類	小分類	該当
材料技術 組織制御技術	製錬技術	新製錬法	
	合金技術	最適合金組成の予測	
		枯渇元素の使用低減	
		合金添加元素の低減	
	製造プロセス技術	結晶粒・集合組織制御	
		組織（ casting・塑性加工）の予測	
		新 casting 法	
		新塑性加工法	
		新プロセス（急速凝固）： casting 厚 1 mm 以下	
		新プロセス（半熔融：DSSF）	
	ナノテクノロジー	測定・評価法の適用	
		各種特性発現への応用	
	その他		
	リサイクル リユース	回収技術	大型建造物の回収
展伸材のリサイクル			
再生技術		再生アルミの付加価値向上	
		複合材料の再生	
その他			
利用拡大技術	製品技術	ハイブリッド接合	
		新接合法	
		アルミ合金の機能めっき	
		構造設計技術	
		素形材の新高速成形法	
		軽量構造材（ポラスアルミ）	
		エネルギー源	
	性能向上	導電率の向上：銅合金並	
		耐食性の向上：チタン並	
		耐熱性の向上：300℃で使用可能	
		光学特性の向上：ガラス鏡並	
	放射線遮断性の向上：ステンレス並		
	その他		
II その他の技術			
エネルギー	省エネ、省資源		
	環境負荷低減		
その他	設計		
	感性工学		
	IT 関連		

2. 研究目的 (300字程度)

3. 研究実施計画 (600字程度、図表2枚まで添付可)

4. 本研究で期待される成果

(該当するものに○印下さい)

- ①省エネ () ②省資源 () ③環境負荷低減 () ④新製品・新用途開発 ()
⑤新物性の究明 () ⑥その他 ()

(概要説明、500字程度、図表2枚まで添付可)

5. 最近5ヶ年間の研究成果（論文、研究発表等、リスト添付も可）

（論文名、掲載学会誌名、巻号頁、発行年、著者名（全員））

（国内外会議名、主催者名、開催場所、期日）

6. 助成金の使途内容

備品費：

謝金：

消耗品費：

その他：

旅費：

合計：

以上